



# 国民春闘共闘

第2号

2014年12月12日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2014年度年末一時金・第2回集計

## 平均 2.12 ヲ月 上積み獲得増加

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は5日、2014年の年末一時金第2回目の集計をおこない、24単産・部会から報告が寄せられました。

年末一時金第2回集計の結果は以下のとおりです。

### <回答状況>

	2014年	2013年（同期）
登録組合数	759	779
回答組合数	460（60.6%）	477（61.2%）
うち上積み獲得	142（30.9%）	123（25.8%）
うち妥結組合数	218（47.4%）	208（43.6%）

### <回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2014年	2013年（同期）	（前年比）
単純平均	月数	2.12	2.02	+0.1
	額（円）	678,825	655,314	+23,511
加重平均	額（円）	674,883	689,780	-14,897
	組合員数（人）	134,609	151,359	

\*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

### <単純平均額で前年実績と比較可能な組合での回答状況>

	2014年	2013年
比較可能組合数	244	268
うち前年額以上	152（62.3%）	164（61.2%）
（前年超）	138	149
（同 額）	14	15

### <前年実績と比較可能な組合での単純平均金額>

組合数	単純平均額（円）	前年実績	（前年比）
244	688,766	675,582	+13,184

## ＜集計結果の概要＞

### 回答引出し・妥結状況

2014年度の年末一時金の第2回集計には、新たに合同繊維労組、建交労・製造、検数労連、通信労組の4単産・部会から回答の報告が寄せられ24単産・部会での集計となりました。

回答を引き出したのは登録759組合のうち460組合で、回答引き出し率は60.6%となりました。前回調査（11月19日時点：327組合・43%）から17.6ポイント増えています。前年同期（2013年12月5日現在：477組合・61.2%）からは0.6ポイント減少しています。

回答引き出しのあった組合のうち数次にわたる上積み回答を引き出したのは、142組合・30.9%で、前回調査（54組合・16.5%）から14.4ポイント増え、前年同期（123組合・25.8%）を5.1ポイント上回っています。

現時点で妥結した組合は218組合、妥結率では47.4%となっています。前年同期（208組合・43.6%）と比べわずかながら上回っています。

支給日を前に追い上げを図りながらも粘り強い交渉を進め、上積みを勝ち取っていることが伺える状況となっています。

### 全体の回答内容

月数回答のあった446組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は2.12ヵ月で、前回調査から0.02ヵ月減となりましたが、前年同期を0.1ヵ月上回っています。

金額回答のあった264組合での単純平均額は678,825円で、前回調査から8,891円減、対前年同期比では23,511円増となっています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は674,883円で、前回調査比4,739円減、前年同期比14,897円減となっています。

出版労連の組合で3組合が200万円以上の回答を引き出したのをはじめ、100万円以上の高額回答を引き出した組合は28組合（前年同期26組合）となりました。そのうち8組合（前年同期7組合）は150万円以上の回答を引き出しています。

規模別に見ると、前回調査同様に「29人以下」、「30～99人」、「100～299人」の小中規模組合が、単純平均月数で2ヵ月以上を維持し奮闘しています。

単産・部会別に月数を見ると、建設関連労連、建交労・鉄道、通信労組、全倉運、外銀連、民放労連、出版労連、映演労連、特殊法人労連、地方マスコミで単純平均以上となっています。

前年実績単純平均月数と比較すると、比較可能な23単産・部会のうちプラスが15、マイナスが6、同月数が2となっています。水準、前年比ともに同一産業間でばらつきが見られます。

### 前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な244組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は688,766円で、前年を13,184円上回っています。

このうち62.3%にあたる152組合が前年実績額以上の回答を引き出しており、前年同期（前年実績額以上：164組合・61.2%）から1.1ポイント増加しています。建設関連労連の2組合で前年実績を50万円以上上回る回答を引き出したのをはじめ、138組合が前年実績を越す回答を引き出しています。

単産・部会別に見ると、前年実績と単純平均額で比較可能な18単産・部会のうち、前年実績額からプラスが13単産・部会、マイナスが5単産・部会となっています。前回調査でマイナスとなっていた全印総連がわずかながらですがプラスに転じています。

## パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金獲得は、新たに全農協労連から報告が寄せられ、7単産・161組合で255件の成果獲得となっています。前年同期（2013年12月5日時点：154組合・189件）を66件上回っています。

このうちパートやアルバイトなどを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、6単産で143件となっています。月数報告のあった132件の単純平均は0.954ヵ月で、金額報告のあった57件の単純平均額は49,801円となっています。前年実績と比較可能な組合の単純平均月数を見ると108件の平均で0.876ヵ月と前年実績（0.887ヵ月）をわずかに下回っています。金額では34件平均で48,406円と前年実績比982円増となっています。

日給制で働く仲間の一時金獲得は、2単産・3件で単純平均額は154,635円となっています。

月給制（準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金は5単産・61で、月数で1.002ヵ月（45件平均）、金額で126,182円（24件平均）となっています。前年実績と比較可能な組合の単純平均月数を見ると31件の平均で1.021ヵ月と前年実績（0.972ヵ月）を若干上回っており、金額では13件平均で152,330円と前年実績比13,517円増となっています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金獲得は3単産から18件の獲得報告が寄せられています。

### <参考> 他団体の夏季一時金集計結果

●連合の第1回回答集計 年末一時金（11/14公表）は以下のとおりです。

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2014年	昨年実績	2014年	昨年実績
492	55.6	780,631	740,309	560,763	536,412

月数（ヵ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2014年	昨年実績	2014年	昨年実績
1,419	100.3	2.20	2.39	2.14	2.05

●日本経団連の年末一時金妥結集計（大手企業＝11/13現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均		単純平均	
		金額	昨年実績	金額	昨年実績
大手企業	76社	893,538	844,717	766,491	728,233

※集計対象は東証一部上場、従業員500人以上の企業